

人間ドック新オプション検査①

『ロックス・インデックス』

今年度、人間ドックに新しいオプション検査が2つ加わります。今回は、今年度初めより加わった1つ目のオプション検査を紹介します。

ロックス・インデックス (LOX-index)

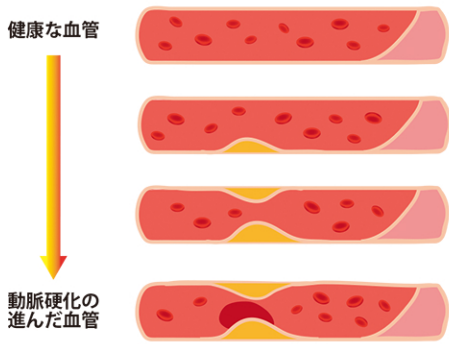
この検査は、『動脈硬化』の進行リスクを測定し、将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する検査で、血液検査になります。

将来のリスクを知ることのできる生活習慣の改善に役立てていただき、『動脈硬化』に関連する疾患の予防につながっていくための検査になります。



『動脈硬化』とは

◇加齢
◇喫煙
◇高血圧
◇高血糖
などが原因で、血管に慢性的な炎症が起き、血管壁が肥厚し、弾力性を失うこと



で血管の機能に支障が出る状態を言います。『動脈硬化』は、自覚症状がないまま進んでいき、脳梗塞や心筋梗塞などの命にかかわる病気につながっていきます。

酸化LDLと LOX-1

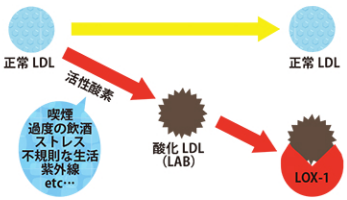
ロックス・インデックスは『動脈硬化』に関連する2つの物質を調べます。一つは、

★LAB(酸化LDL)です。血液中のLDLが酸化ダメージを受けるとLAB(酸化LDL)に変化します。

もう一つは

★LOX-1

です。これは、酸化LDLが増えたり、喫煙、高血圧、高血糖などの要因が



あつたりすると血液中に出てくる物質です。そして、酸化LDLとくっつくことにより血管内皮細胞を傷つけて、炎症を引き起こす物質になります。

つまりこの値が高いと、血管の炎症が進んでいる可能性があると考えます。どちらも『動脈硬化』の初期段階を捉えることができます。

細胞を傷つける要因

血管内皮細胞を傷つけやすい要因として

- ◇喫煙
- ◇高血圧
- ◇高血糖・糖尿病
- ◇脂質異常症
- ◇CKD(慢性腎臓病)
- ◇肥満(特に内臓脂肪型肥満)
- ◇高尿酸血症